

平成19年 5月 2日

各 位

アイフル株式会社  
 代表取締役社長 福田 吉孝  
 (コード番号 8 5 1 5)  
 (上場取引所 東証第1部・大証第1部)  
 問い合わせ先 広報部長 香山健一  
 TEL 03-4503-6050(広報部)  
 03-4503-6100(IR室)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年11月7日の中間決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 通期の業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

(1) 連結

(単位:百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	508,714	20,000	185,476
今回修正予想(B)	499,000	163,000	411,200
増減額(B-A)	9,714	183,000	225,724
増減率(%)	1.9	-	-
(ご参考)前年同期実績 (平成18年3月期)	549,547	126,964	65,827

(2) 個別

(単位:百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	305,864	12,500	163,442
今回修正予想(B)	300,700	101,200	359,300
増減額(B-A)	5,164	113,700	195,858
増減率(%)	1.7	-	-
(ご参考)前年同期実績 (平成18年3月期)	343,515	94,632	50,381

## 2. 業績予想数値修正の理由

### (1) 個別業績予想の修正について

当社は、最近の業績の動向や社会情勢等から営業貸付金利息が当初計画を下回るとともに、利息返還金の増加に伴う利息返還損失引当金及び貸倒引当金の積増費用 900 億円を営業費用として計上する予定であり、結果、平成 19 年 3 月期末の利息返還損失引当金相当額として 2,900 億円となる見込みであります。また、1 月 20 日に発表した「アイフルグループの組織再編・コスト構造改革について」に基づく退職一時金及び店舗除却損等のリストラ費用 130 億円を、更には、2009 年 3 月期を目処に当社へ経営統合する予定である消費者金融子会社トライト、ワイド、TCM 及びパスキーに係る子会社整理損失引当金繰入額 460 億円、関係会社株式の減損処理費用 220 億円を、それぞれ特別損失として計上する見込みであります。

以上により、業績予想を修正することとなりました。

### (2) 連結業績予想の修正について

個別業績予想の修正に加え、グループ各社においても最近の業績の動向や社会情勢等から営業貸付金利息が当初計画を下回るとともに、トライト、ワイド、TCM、パスキー、クレジットカード子会社ライフ及び事業者ローン子会社シティズにおける利息返還金の増加に伴う利息返還損失引当金及び貸倒引当金の積増費用 445 億円を営業費用として計上する予定であり、結果、平成 19 年 3 月期末の利息返還損失引当金相当額は 3,626 億円となる見込みであります。また、1 月 20 日に発表した「アイフルグループの組織再編・コスト構造改革について」に基づくアイフル以外のグループ会社に係る退職一時金及び店舗除却損等のリストラ費用 140 億円、トライト及びワイドに係るのれん一括償却費用 44 億円をそれぞれ特別損失として計上する見込みとなりました。更には、貸金業法改正の方向性に鑑み、ライフ及びシティズの繰延税金資産 100 億円の取崩しが発生する見込みであります。

以上により、業績予想を下方修正することとなりました。

## 3. 配当予想について

期末配当金につきましては、現時点において変更する予定はございません。

なお上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく将来の見通しであり、最終の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上